



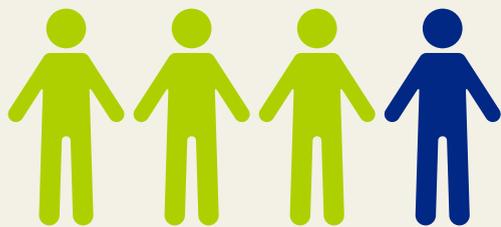
# 大腸がんは、早期発見で 90%以上が治る病気です

## 数字で知る 大腸がん

10月1日(水)から、55～59歳の市民(条件は表紙に記載)を対象に、全大腸内視鏡検査を無料で実施します。これは、大腸がんの早期発見と治療を目的とした取り組みで、市区町村が検査費用を全額負担する形で実施されるのは“全国で初めて”です。他にも、年代別に受診してほしいがん検診をご紹介します。ぜひ、この機会に検査を受けてください。

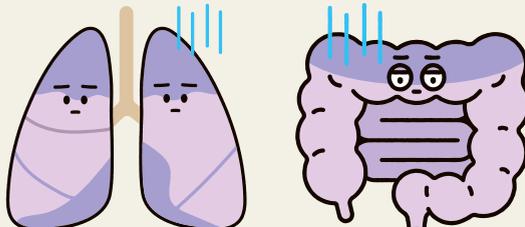
# 1/4人

本市の4人に1人はがん(悪性新生物)が要因で死亡しており、死因割合としては最も多いです。(令和4年度は24.8%)



# 256人

本市における大腸がんによる死亡者数は年間250人を超えており、令和4年度は256人。がんによる死因の中では肺がん(令和4年度は415人)に次いで多いです。



# 76.8%

大腸がんはポリープからゆっくり成長し、がんになるため、早期発見することで治療が可能です。

大腸がんの5年相対生存率は76.8%。肺がん(47.5%)、胃がん(75.4%)などのがんよりも早期発見が有効です(※2)。

## 大腸がんによる死亡者を減らすために、 全大腸内視鏡検査の無償化が始まります!

対象者1,000人

対象条件は表紙をチェック

10/1(水)問診開始 (9/24(水)～問診申し込み開始)

### 受検の流れ

#### 1 対象の医療機関に問診申し込み

9月24日(水)以降に医療機関へ問診申し込み。10月1日(水)以降に問診を受け、検査方法や検査後の流れの説明があり、問題なければ検査を予約します。



#### 2 前処理(～前日)

検査前は、消化の良い食事をとりまします。前日夜から絶食となります。



#### 3 前処理(当日)

大腸の中をきれいにするため、下剤を服用します。トイレに何度か行き、便が透明になったことを確認します。



#### 4 医療機関で検査受検

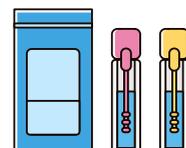
全大腸内視鏡検査を行います。ポリープがあれば保険診療で切除します(別料金)。



#### 5 医師による結果説明



#### 6 翌年度は市より大腸がん検診キットを送付(受診は別料金)



実施医療機関(申し込み先)一覧など詳細はこちら



### 全大腸内視鏡検査を行う理由は?

大腸がんやポリープなどの病変を直接観察することができるため、早期発見・早期治療につながります。

また、大腸内の状態から、大腸がんの罹患しやすさがわかるため、それに応じて今後のおすすめの検診プランを医師から示してもらえます。



### なぜ55～59歳の市民が対象なの?

大腸がんは50代から増加し、60代で急増するがんです。また、大腸がんはポリープから10年ほどかけてゆっくり成長し、がんになります。そこで、大腸がんの早期発見とともに、急増する60代の大腸がんをポリープの段階で切除することを目的として、より効果が見込まれる55～59歳を対象としました。

